

④施設・事業所の特徴的な取組

自立生活、地域生活むけたステップ（階段）を細かく刻み、着実にステップアップできる環境を用意しています。まずはショートステイで状況の把握と生活訓練を行い、ご利用者様や保護者様が安心してグループホーム生活を始められるように支援を行っていきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月12日（契約日）～令和4年12月6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（令和3年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

障がい特性や個別性を踏まえてステップアップできる活動を展開している

法人は「日本に暮らす障がいをお持ちの方々を幸せにする」と題した理念を掲げ、5段階のステップアップ方式で着実に地域生活へ移行支援に取り組んでいる。当該施設「梅風園」は「生活を整える」ことを目的とした「短期入所事業」として5段階の2段階目に位置している。日常的な支援にあたっては利用者や保護者から支援に対する意向を踏まえ、利用者一人ひとりの個別的な身体状況・行動特性・障がい特性・生活環境などを把握・評価した後、生活場面において支援の必要性を精査し、支援方針を構築している。各利用者の支援目標に基づき、生活場面における具体的な目標を掲げ、「障がい特性」「個別性」を踏まえた上で支援を展開している。

様々な心身状況の利用者も受け入れ、支援体制が作られている

施設は知的あるいは精神障がいの利用者中心に受け入れており、さらに強度障がいなどの利用者の重度化が進んでいる傾向が否めない状況になっている。健康面のチェック、対応は欠かせないことを踏まえ、看護師資格を持つ職員が中心となり、利用者の健康管理を行っている。また、自宅とは異なる集団生活であることから、人間関係や心身の状態が不安定な場合、クールダウンが必要な際に利用できる居室なども用意している。

事業の進捗状況を確認し、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる

計画推進にあたっては、管理者会議、社員会議、責任者会議、サービス管理者会議などにおいて検討し、定例の役員会議において報告され審議する流れとしている。また、検証した結果については職員にフィードバックする仕組みが整っている。さらに、利用者支援の状況や目標に向けての達成状況については、朝夕礼をはじめケース記録などによって共有する流れとしている。事業計画を着実に実行するために、職層を考慮したバランスの良い職員配置とスケジュール管理を行っている。一方で、施設内外の先進事例・失敗事例を参考にしたり、リスクマネジメント委員会を実施するなど、法人全体に還元できるようにしている。

◇改善を求められる点

目標達成度を数値化、グラフ化し、エビデンスに基づく根拠を明確することを検討されたい

施設では各利用者の支援目標に基づき、生活場面における具体的な目標を掲げ、「障がい特性」「個別性」を踏まえた上で支援を展開している。具体的な支援内容についてはアセスメントや利用開始時にサービス管理責任者や支援担当職員が利用者本人や家族と個別面談し、個人の特性をきめ細かく把握して支援を提供することになっている。ただし、利用者のモニタリング、評価等において、曖昧さや主観的な判断を排除し、具体的に数値化した達成度を表すよう工夫することも望まれる。「目標がどの程度達成したか」、数字で具体的に評価するシートなどを設け、これに基づいて達成度を数値化、グラフ化することも検討されたい。

マニュアルの定期的な見直しと内容改訂に期待したい

運営マニュアル、危機管理マニュアル、利用者支援マニュアル、苦情解決、医療的ケア、防災マニュアル、業務マニュアルなどの各種のマニュアルは整えられている。しかしながら、定期的な見直しの時期が決まっておらず、改訂時期も決まっていない。今後は、マニュアルについて内容の確認、実際のサービスにおいて生じている改善点などを盛り込み、定期的に見直しを行うことを期待したい。

人材育成と組織運営の更なる充実を目指している

現在、ホームページやSNS特にブログで日々の利用者の様子を発信して「福祉強化の安心な医療看護体制」を謳い、有資格者、特に看護師を優先して募集・採用・配置している。また、キャリアアップ制度において、求める職員像を明確にしておき、事業計画にもとづいた人事プランを策定している。職員の意欲や知識の向上を図るための「ミニ研修の定例化」や今後を見据え、現在のリーダー職員や今後中核を担うであろう中堅職員のスキルアップを図ることにも取り組んでいる。ただし、全体としては職員の定着率が低下していることを踏まえ、柔軟な発想で応用力のある実践ができるような人材育成と組織運営を目指している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価を通じて「梅風園」が目指していることは、着実に具現化されつつあることが確認できております。利用者調査の結果につきましては、高い満足度をいただいております。安定したサービスを提供できていると思われれます。また、家族も一緒に過ごしてもらえるような行事などの開催を検討しましたが、コロナ収束の折には定期的開催し、家族や地域の方々との連携を更に図っていきたいと考えております。一方で、「改善を求められる点」につきましては、ホーム一丸となって改善に取り組み、地域や関係機関との連携を図りながらサービスの向上に努めていく所存です。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）